

講義コード	1034	科目区分	基礎教育科目（基礎）
（フリガナ）	キソゼミサン	（フリガナ）	イ ムンサン、カネコトシカズ、フクハラヨシナオ
授業科目名	基礎ゼミⅢ（ビジネス文化専攻）	担当教員名	李 文相、金子壽一、福原慶尚
英文授業科目名	SEMINAR(BasicⅢ)		
基準年次（開講期）	2年次（前期）	履修形態	必修
曜日/時限/講義室	金曜日/1時限		
授業の方法	演習	授業の方法 （詳細情報）	
単位	1	週時間	2
授業のキーワード	インフォメーション・コミュニケーション・プレゼンテーション		
授業概要・目的			
到達度評価の 評価項目	<p>到達度評価項目は次の三つです。</p> <p>1) コミュニケーションのスキルアップとして、「聞く」「読む」「書く」の三つの基礎と実践力。</p> <p>2) 毎回受講生全員が「3文間スピーチ」にチャレンジする姿勢。</p> <p>3) プレゼンテーションの三つのメッセージ（ストーリーメッセージ、ビジュアルメッセージ・フィジカルメッセージ）の習熟度。</p>		
授業計画			
第1回	<p>オリエンテーション</p> <p>シラバスの配布、授業の概要・進め方・教材・発表当番などを中心に案内。</p>		
第2回	<p>聞く力（その1）</p> <p>話を聞くということ。</p>		
第3回	<p>聞く力（その2）</p> <p>ノートの取り方。</p>		
第4回	<p>聞く力（その3）</p> <p>大学教員とのコミュニケーション</p>		
第5回	<p>読む力（その1）</p> <p>学術的文章とクリティカルシンキング</p>		
第6回	<p>読む力（その2）</p>		
第7回	<p>読む力（その3）</p> <p>クリティカルシンキングによる精読</p>		
第8回	<p>読む力（その4）</p> <p>その他の読み方</p>		
第9回	<p>読む力（その5）</p> <p>知識が増える喜びを知る。</p>		
第10回	<p>書く力（その1）</p> <p>大学で求められるレポートや論文とは？</p>		
第11回	<p>書く力（その2）</p> <p>グラフ作成について学ぶ。</p>		
第12回	<p>書く力（その3）</p> <p>調べたデータをグラフ化する。</p>		
第13回	<p>書く力（その4）</p> <p>調べたデータをグラフ化する。</p>		
第14回	<p>書く力（その5）</p> <p>プレゼンテーションの力をつけるための基本。</p>		
第15回	<p>授業のまとめ</p> <p>発表会。まとめ。</p>		
教科書・参考書等	<p>・山田剛史ほか『大学生のためのリテラシー入門』2012、ミネルヴァ書房</p> <p>・松野 弘『大学生のための「社会常識」講座』、2011、ミネルヴァ書房</p>		
授業で使用する 機器等			
予習・復習への アドバイス	<p>学内・外での行事やイベントには社会貢献の視点から、積極的に参加する。</p>		
履修上の注意・ 受講条件等	<p>毎回の出席が前提なので、5回以上欠席（公欠を含む）した場合は単位を認定しない。なお、遅刻（20分以内）は2回で1回の欠席扱いとする。</p>		
成績評価の基準等	<p>以下の観点から総合評価する。</p> <p>1) 授業に取り組む姿勢（30/100）</p> <p>2) 提出物の評価（40/100）</p> <p>3) 発表力（30/100）</p>		
メッセージ	<p>「話すこと」の苦手意識を払拭しよう！毎回行う身にスピーチでコツと自信を！</p>		
オフィス・アワー			
その他			